

医療安全情報 レポート

vol.20

働くみんなの医療安全

今回のテーマは、「患者誤認防止」です。

確認しているつもりでも、無くならない「患者誤認」。多くが、患者確認を怠ったり、不適切な患者確認を行ったために発生しています。正しい患者確認の方法を今一度見直しましょう。

入院患者：患者識別バンドが情報源。フルネームと生年月日、又はID番号で確認。

外来患者：患者さんから、フルネームと生年月日を発信してもらう。（自分で発信できない患者は、家族や介助者に発信をお願いする）

**フルネームのみの確認は、もはや世界水準ではありません。
必ず、2種類の患者確認（識別）法が必要です。**

ポイント①：手元情報との照合を行う。

（手元情報とは、採血管、検査伝票、薬袋、カルテなどの事です。何の目的で患者確認を行うのかによって手元情報は、違ってきます。）

ポイント②：患者さんにも確認作業に参加してもらう。

（患者さんに情報発信してもらう、伝票を一緒に確認してもらう等）



患者さんの
確認のために、
お名前と生年月日を
教えてください。



全ての医療行為は、患者本人であることの確認から始めましょう！